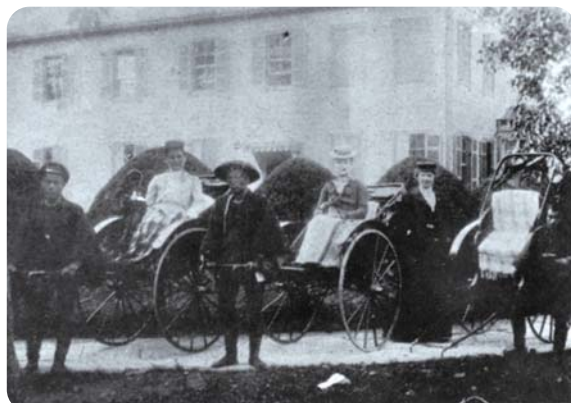


MG archives

人力車に乗る女性校長たち

明治期の宮城学院(前身は宮城女学校)は、女性校長らのもとで細やかな心遣いと配慮に溢れた校風でした。第3代校長L.ズーフル(写真左から2番目)の教育には特長がありました。女性たちのためには、学内だけではなく、学外における教育普及活動が重要であると説いたのです。県内外へとふくらんだ学生・生徒の家庭訪問、病院伝道などを積極的に行ったズーフル先生の往事をしのばせる貴重な写真です。

(写真・文 宮城学院資料室)



「人力車に乗る女性校長たち」

巻頭座談会

落書き研究プロジェクト

心理行動科学科 学生有志×宮城学院女子大学学長 吉崎泰博

05 シリーズ 思索の森の案内人たち

07 OG INTERVIEW 社会で活躍する卒業生たち

08 在学生の活躍を紹介! Students' Voice

MG Cafe

09 宮学生の特製オリジナル 私たちの健康レシピ

学友会 ニュースMGが行く!

10 Campus topics

Club サークル紹介

Making of partir メイキング オブ(パルティール)

MG フォトエッセイ

落書き研究プロジェクト

街の中でよく見かける落書き。見慣れた風景に学生が「なぜ?」と疑問を持ったことから始まった「落書き研究プロジェクト」。授業の一環として始まった2007年、有志により研究を深めた2008年の2年間に亘り活動した、心理行動科学科の皆さんにお話を伺いました。



吉崎学長(以下学長) 「落書き」を学問的に研究したのは、世界でも珍しいそうですね。テーマはどのように決めたのですか?」

東城奈央さん(以下東城) 1年生の授業で街の中の気なることを写真に撮りました。そこで落書きが多いと感じました。

大内睡美さん(以下大内) 落書きの「研究」は例がないと知り、面白そうだったのでということになって…。自分たちでテーマを決めました。

学長 どんなふうにしたのでしょうか。

丹野江梨子さん(以下丹野) まずは現状を知ろうと、街の中を歩いて地図にポイントをチエックし、落書きの種類や場所、特徴など分類しました。落書きに関する新聞記事なども過去20年に亘って検索

しながら落書きをする人の心理と行動の特徴を探りました。

2年目には、落書きが描かれる過程を見ようと、自分たちで落書きを消して、次に描



かれるまでの時間経過を写真を撮りながら観察しました。

学長 実際に街に出での活動は、大変な作業でしたね。街の人に協力を頂く場面もあつたでしょうか。反応はどうでしたか?」

丹野 落書きが描かれているビルの所有者の方などには、研究の許可を頂くために何度も訪問し、協力を頂きました。

北浦茜さん(以下北浦) 商店街の方にもヒアリングを行いました。皆さん好意的で、「がんばって」とタオルを頂いたこともあります。

佐藤あずさん(以下佐藤) 落書きにはみんな悩んでいました。落書きの犯人を捕まえるため、懸賞金を出したオーナーもいました。研究発表会のときには、協力してくれた街の人たちが見に来てくれました。





心理行動科学科3年
佐藤あずささん

心理行動科学科3年
大内睦美さん

吉崎泰博 学長

心理行動科学科3年
丹野江梨子さん

心理行動科学科3年
北浦茜さん

心理行動科学科3年
東城奈央さん

PROFILE

宮城学院女子大学学長
吉崎泰博
九州大学文学部卒業。
2002年北九州市立大学
学長、2005年4月より本
学学長。

座談会メンバー

東城奈央さん
心理行動科学科3年
高等学校卒業程度認定

北浦茜さん
心理行動科学科3年
富谷高校出身

丹野江梨子さん
心理行動科学科3年
仙台南高校出身

大内睦美さん
心理行動科学科3年
日大山形高校出身

佐藤あずささん
心理行動科学科3年
多賀城高校出身

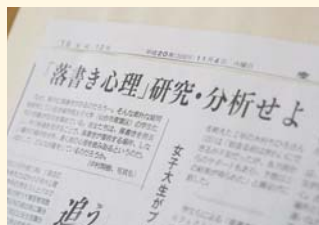


大内 JR仙台駅や仙台市役所などにも落書きの状況や対策などのヒアリングをしたんです。最初は交渉も消極的だったけど…。

丹野 どんどん上手くなったよね笑

学長 皆さんの研究は街のためになったのでしょうか。

丹野 「なぜ落書きをするのか」という、落書きをする人の心理には深く踏み込んでいないのですが、「落書きをしたくなる場所」というのが判別できるのかがどうかを探りました。結論として、



きれいに消してあると心理的に次に描きづらいたことが分りました。

佐藤 消しても消しても描かれ続けるのであればめたくなるようですが、きれいに消し続けることがポイント。

北浦 それを提案として、落書きの問題がこれから良い方向にいけばいいと思います。

人間への興味深まる体験

学長 今回のプロジェクトをやってみて、皆さんの勉強や生き方にいい影響はありましたか？

大内 自分たちで計画、実践をしたことが勉強になりました。心理学の幅の広さを知ることができたと思います。

北浦 みんなで力を合わせて長期に亘ってプロジェクトを進める過程や、外部とのかわりは大学ならではの経験でした。

丹野 長い期間の中では思うようにいかなかったって、モチベーションが下がってしまうときがあったのですが、そこでみんなの気持ちをひとつにしてやっていく方法を考えたり、集団の中の人の心を考えさせられたりしたことが大きい経験でした。

佐藤 入学する前は、心理学は読心術だと思っていたのですが、人の行動から心理を推測するということにさらに面白さを感じています。

学長 人がなぜその行動をするのかという背後に必ず気持ちがあります。気持ちが行動を起こしているんです。人間への興味が深まりますね。



て、高学に入学してきましたんですよ。

学長 すでに先輩としての姿を先輩に示していますね。ぜひ先輩のためにも、一期生として団結して、道を切り拓いていって欲しいですね。今回のプロジェクトは、皆さんの若さあふれる、ユニークな研究活動として注目され、新聞にも数多く取り上げられました。問題意識を持って自分たちで行動する中で、貴重な体験を積んで、それぞれ成長したと思いますよ。自信を持って進んでいってください。この経験がこれからの人生にどう影響するのか。心理学を学んでいるのだから、自分自身を冷静に分析してみたいかがでしょうか。

仲間との絆を深めながら

学長 来年は就職活動ですね。将来の目標ややりたい職業、また、その先10年後の自分を描いていますか？

東城 就職については、そろそろ真剣に向き合う時期が近づいているとは思っています。まだ…。

丹野 心理行動科学科を出たらこの職業に就けるという例がなく、(一期生で)先輩もないので将来像が見えづらいんです。

学長 その分、一期生は好きなことができるのでは(笑)。心理学を学んだ人たちなら、合理的で能率ばかりを優先させるようなところではなく、お客さんや職場の仲間と心を通わせられるような仕事や会社を選んだら良いと思いますね。

ではこれからの大学生活はどう過ごそうと思いますか？

北浦 自分の足で歩く、調べるという経験をもっと積みたいと思います。やりたいことはまだ見えてないのではっきりさせたいと思います。ですが、今できることをがんばってやりたいです。

大内 これは学科の行事や交流もさらに大切にしたいですね。



落書き研究プロジェクトとは



「なぜ街の中にこんなに落書きがあるのか」という学生たちの疑問から始まった心理行動科学科のプロジェクト。2007年10～11月の1カ月間、仙台市中心部の850カ所の落書きの場所や種類、特徴を調査、データベースを作り落書きをする人の心理を分析。同時に過去20年分の新聞記事を検索し、落書きの変化や社会での扱われ方などを分析した。2008年は、有志グループで活動を継続。「きれいな場所には落書きしづらい」という分析結果をもとに、同年10月～2009年2月にかけて、自分たちで落書きを消してから、次に描かれるまでの経過を写真に収めながら記録。世界でも例を見ない落書きの心理についての社会的実験を行った。2009年3月、2年間の研究結果を仙台市情報・産業プラザでパネル展示し、好評を博した。



プロジェクトの活動は「女子大生が落書き心理を研究」などと新聞やテレビなどでも取り上げられ、反響を呼んだ。

思索の森林の案内人たち

「学問する」ということは、新しい知識の世界を開く喜びに満ちています。学ぶことは、きつ々しからるの人生に輝きを与えてくれるはず——そんな世界を案内してくれる先生方に、「学びの姿勢」についてお話を伺いました。

英語で考える「幸せに生きる方法」とは

英語教授に何を取り入れるか

これまでに書いた英語教授に関する論文、書籍、教科書は100冊以上にもなります。教員対象のワークショップも世界各国で行っています。

英語教授において、何を題材に英語を教えるかということは大切なことですが、私は5年ほど前からPositive Psychology(ポジティブサイコロジー／肯定心理学)の考えを得て研究をしています。

ポジティブサイコロジーは、1995年ごろから始まった新しい心理学です。臨床心理学などこれまでの心理学が心の病に焦点を当て

て研究されていたのに対し、幸福や精神的な健康に目を向けることを基本にしています。幸せに生きるにはどうすれば良いのか。心が健康な人、幸福感を感じている人に共通するものは何かを科学的に研究するのです。

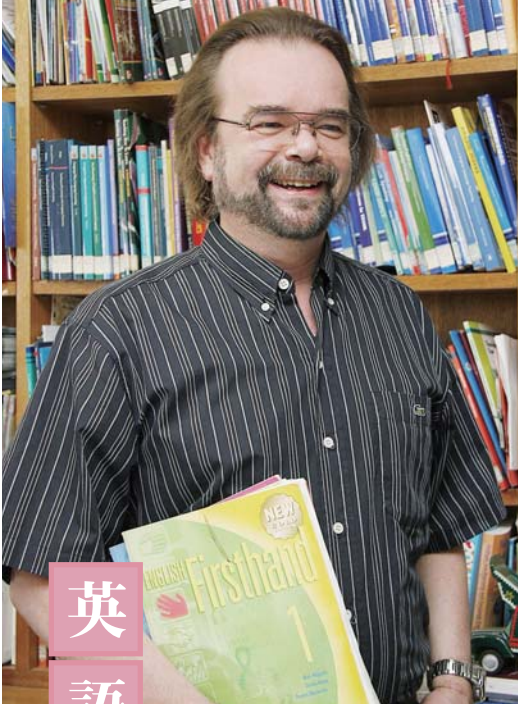
幸せな人が実践している『8つのこと』

ここに見る考え方の多くは、英語を学ぶ学生にも有益なものです。例えばポジティブサイコロジーの研究者のひとりであるSonja Lyubomirskyは、幸せな人が実践している『8つのこと』をあげています。「人生において良かったことを思い出ししょう」「親切にしましょう」「人々に感謝しましょう」「家族や友達と過ごす時間を持ちましょう」「自分の健康を気遣いましょう」「あなたを傷つける人を許しましょう」「何か起きたときにこそ良いことに目を向けましょう」「問題を解決する手立てを習得しましょう」「いつもものです。これを授業に取り入れ、自分が幸せだと感じたことを報告してもらったり、両親に感謝の手紙を書いたほうがいいまわ。

自分の気持ちを伝える心からの言葉、英語の表現を学ぶだけではなく、ある学生は手紙を書いたことで両親にすごく喜んでもらえてうれしかったといっています。相手が喜んでくれる自分もうれしい。どちらも笑顔になるんです。こうしたアクティビティを通して、多くの学生たちは、これまで当たり前だと思っていたことに感謝することができるようになったと言っています。幸せについて深く語り合うのでクラスの雰囲気もとてもいいものになっています。英語の授業を通して「人生を幸せに生きる方法」を学べるわけです。

大学生の18歳から22歳という年齢は、心身ともに変化が多い時期です。学校以外にもアルバイトやボーイフレンドのことなど悩みも多いでしょう。生活の中に、ぜひ『8つのこと』を取り入れてみてください。「幸福な人々はそうでない人よりも勉強ができる」と科学的にも証明されているんですよ。

※ポジティブサイコロジーについてはこちらをご覧ください。
http://ELTandhappiness.terrapad.com



英語・英語教育学

国際文化学科
マーク・E・ヘレガソン教授

相手の立場から見えてくること

建物の機能と居心地を追求する

私の専門の建築計画とは、人が建物をどう使っているか、使い手の立場で考える学問です。私の中でも認知症高齢者の住まいを中心に、医療福祉施設を研究の対象としています。住居と違って、使う側が設計にかかわることができないので、どうしたら快適に過ごせるか、われわれ建築計画学の研究者がその代弁者となって、設計に反映するわけです。完成後は、実際にデザインコンセプトに沿った使われ方がされているかを調査して、次の計画に活かしていきます。

女性ならではの視点を活かす

生活文化デザイン学科の建築教育は「私が住みたい家」の設計から始まります。30代になったとき自分とそのときの家族との暮らしを描きながら、理想とするライフスタイルに合う住宅をデザインしていくのです。そのなかで、もっとも大切にしているのは「時間」です。1日の生活の中でも「時間」によって違うシーンが住宅の中にあるはずでしょう。より長い「時間」

のスパンの中では家族が増え、成長し、やがて巣立っていきます。このような家族の歩みに伴って、ライフスタイルが変わってきます。ライフスタイルが変わっても、常に住み心地の良い住宅の形を学生と一緒に考えています。

建築家はまだまだ男性が多いのですが、住宅設計には女性ならではの視点が活きてきます。キッチンや収納などの設計には女性の生活感覚や、住む人のことを考えてあげられる繊細さが武器になる。女子大ならではの強みとして、学生たちからそうした部分を引き出してあげたいと思います。

どれだけ相手の立場になって物事を考えることができるかが、当たり前のごとに「気づく」ことができるかは、将来建築の分野に進まなくてもあらゆる仕事で通用する力ですよ。

失敗を恐れずにチャレンジしてほしい

現在の学生に感じることは「粘り強さ」が足りないのではないかと、ということ。私の学生時代は、もっと学生同士、または先生たちとも議



●ヘレガソン先生おすすめの本●



「HAPPIER」

— 幸福も成功も手にするシークレット・メソッド
ハーバード大学人気No.1講義 —
タル・ベン・シャハール 著
坂本 真一 訳
幸福の科学出版 1,575円

これはPositive Psychologyコースのための教科書であり、Positive Psychologyはハーバード大学で最も人気のあるコース。今は日本人の間でもこの本を手に取り活用できる人が多い。幸福な人々ができることの基本をこの本は教えてくれるだろう。(マーク・E・ヘレガソン)

●厳先生おすすめの本●



「クリッパンの老人たち」

スウェーデンの高齢者ケア
外山 義 著
ドメス出版 3,150円

私の恩師の一人、外山義先生がスウェーデンに留学していたときに行った調査をベースに書かれた本である。「クリッパン」という田舎町に住んでいる老人たちの元へ著者が足しげく通い、身の上話を克明に記述し、住宅がベースとなっているスウェーデンの福祉政策・高齢者ケアを紹介した著書である。また、高齢者ケアの領域を超え、「老い」の意味についても考えさせられる本である。(厳 爽)



PROFILE

准教授 厳 爽(ヤン シュアン)

中国北京市生まれ。1992年中国礦業大学建築学科を卒業後、来日。1998年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了、2001年同博士課程修了。2004年より宮城学院女子大学准教授。

社会で活躍する卒業生たち

O G I N T E R V I E W

同僚たちと日々、
刺激し合い、
互いの感性を磨ける職場です

株式会社オンワード樺山 販売第一部
チルティーンズ&ファッショングッズ販売課
明石 清夏さん



— 宮字を選んだのは？

子どものころから洋服が大好きで、将来、ファッションにかかわる仕事がしたいと思っていました。大学で服飾を学べるころは少なく、また宮字は自宅から通えるので私にぴったりでした。

被服製作の基本的な知識や技術、一枚の布がだんだん立体的になって、洋服が出来上がっていく過程をきちんと学べて良かったですね。

— 現在のお仕事は？

子供服やティーンズファッションの販売課に所属しています。担当店舗の売上げ管理が主な仕事。商品化への提案も行います。洋服が好きなのが集まって互いに刺激し合いながら、女性ならではの感性を活かせるのでやりがいがありますね。今、生地についての知識を深めたくて「繊維製品品質管理士」(社団法人日本衣料管理協会)の資格取得に向けて勉強中。営業として早く「一人前」と認められるよう頑張りたいです。

— 宮字の後輩たちへのアドバイスは？

大学時代から、自分で課題を見つけて自分で動くという経験を積んでおくこと。学生のころの私は、指示されてから動くタイプでした。社会に出たら、自らひとつでも行動を起こせば、それがきっかけとなっていろいろなことに繋がっていく楽しさに気がつきました。学生時代は時間がたっぷりあったのに、もったいない過ごし方をしてしまったのかなと...。少しでも興味を持ったことは自分で調べてみるなど、中心行動を起すことをおすすめします。

明石 清夏さん 2006年 生活文化学科卒

2006年生活文化学科(現・生活文化デザイン学科)卒。同年、紳士服や婦人服を製造・販売するアパレル大手の株式会社オンワード樺山(仙台市青葉区二日町)に入社、チルティーンズ&ファッショングッズ販売課に配属となる。子供からティーンズファッションの販売管理を担当。休日にはもっぱら買物や街歩きを楽しみながら「市場調査」。

Students' Voice ~在学生の活躍を紹介!~

音楽と私



倉片 彩さん
音楽科2年(文化系)
仙台向山高校出身

「文化系って何?」とよく聞かれます(笑)
文化系とは、実践的、体験的な学習を軸に、さまざまな形の音楽と文化、社会との関係を考え、これに基づいて音楽の視野を広げられるところです。
大学の奥深い所で元気に活動しているのでぜひ遊びに来てください!

私は「大学で吹奏楽に就いての学びを深めたい」との思いを二つのきっかけとして本学を受験し、現在音楽科に在籍しています。私が吹奏楽を始めた理由として、「みんなで演奏することが好きだから」ということがあり、弦楽合奏という授業を選択しました。その授業を通してオーケストラと吹奏楽の違いや楽しみ方などを仲間と一緒に楽しく学びたいです。



その中で、大学の授業で修得した知識や技能を実践の場で活かせるのは?という思いと、「どこかで吹奏楽をしたい!」との思いから、現在、名取交響吹奏楽団に所属し、定期演奏会や吹奏楽コンクール等に出場したり、地元の中高校生へ指導を行ったりしています。さらに、「名取ブラスバンドコンサート」を自ら企画・運営するとともに、地元の中高校生への指導を通して交流を深めています。

初めは単に吹奏楽を続けたいという思いだけで入団したのですが、活動を継続していく中で、幅広い年齢層の団員の方々から大学の授業だけでは学べないことを教わり、さまざまな音楽の捉え方や考え方などについても勉強になっています。

私はこれまで音楽を通して、大学の先生方や友人たち、そして所属している吹奏楽団のメンバーを始めとする多くの人々に出会い、支えられ、いろいろな意見を聞くことができてきました。これからこの素晴らしい環境にいられることの喜びを感じつつ、大学での学業と吹奏楽団での活動を両立させ、さらにたくさんの音楽に触れて自分を成長させていくことを思っています。



生きた現場から学ぶ



土屋内 千春さん
児童教育学科3年
第二女子高校出身

私たち児童教育学科3年生は、新設学科の一期生ということもあり、毎日が新しいことの連続です。先輩がいなかったため少々不安もありますが、先生方の充実したサポートの下、教育について勉強しています。学科内の学生同士も仲が良く、互いに切磋琢磨しながら大学生活を送っています。

私が在籍する児童教育学科では、「学校ボランティア」という授業が開講されています。この授業は、私たち学生が実際に小学校へ行き、子どもの学習支援を中心として、先生方の補助を通して小学校への理解を深めていくものです。大学では黒板に向かいながら知識的・理論的なことを学んでいきますが、「学校ボランティア」では先生によって異なるさまざまな教育実践を経験し、子どもに合わせた言葉かけや援助を「生きた現場」で実際に触れていきます。大学での机上の学習も大切ですが、自分自身で見て体験することで学びやすいことも多くあります。



私は昨年と今年と継続して「学校ボランティア」を受講しています。実際に子どもたちに接してみると、どのような言葉かけや援助がその子には合うのか、どのくらいの距離感を置くべきかなどいろいろなことを考えさせられます。また、実際に先生方の対応を見て、自分の対応を反省するとともに、実際の場面では使えそうなスキルを知ることができるとも勉強になります。ボランティア開始当初は、子どもとのかかわり方が分からず悩むこともありましたが、先生方に助言をいただいたり、教科書を見直して自分のかかわり方を反省することができました。また、昨年と今年で担任の先生が異なるため、昨年とは違った教育実践やクラスの雰囲気を知ることができています。

今年も小学校での実習も控えているので、「学校ボランティア」を通して学んだことを活かしながら、自分の理想とする小学校教諭に近づけるようがんばりたいと思います。



Campus topics

■ 音楽を通して地域交流

去る7月4日(土)、石巻市遊楽館と本学音楽科の連携事業「こもれびの降る丘音楽会」が、遊楽館で行われました。4年目を迎えた今回は、恒例となった出張オープンキャンパス(ピアノ・フルートの実技クリニック)と、音楽科研究生修了者および教員によるコンサートという内容でした。同時に学科紹介をかねて資料も展示しました。

実技クリニックには、小・中学生の受講者、保護者、地域の先生方が多数集まり、実技指導への関心の高さがみられました。引き続き行われたコンサートでは、パイプオルガン演奏、教員の特別演奏(フルート)、そして声楽、ピアノ演奏が披露されました。聴衆の熱い拍手にアンコールでこたえ、一体感を感じさせる会でした。手伝いの学生、卒業生には更なる研鑽の励みになったでしょう。市からの送迎バスも温かい心遣いでした。



■ 食品栄養学科のラジオ番組放送中

2009年6月4日から「管理栄養士を目指す 宮城学院女子大生の教育ファーム奮闘記」というラジオ番組が放送を開始しました。この番組では、食品栄養学科の管理栄養士を目指す学生が、青葉区作並にある「教育ファーム」で体験するさまざまな出来事や旬の食材を紹介しています。「教育ファーム」とは1回限りのイベントではない、農家が指導する「本物の農業体験」のことです。コマや野菜を作り、穫るところから食べるところまでを一連の流れとして体験し、自然の力やそれを活かす工夫を学び、また、生産・収穫の苦勞や喜び、食べ物の大切さを知ります。「教育ファーム」での体験をよりリアルに伝えるために、学生自らがラジオ放送の原稿を作成し、パーソナリティーも務めています。今後もさまざまなゲストをスタジオに迎えながら、農業や食に関する情報を発信する予定です。毎週木曜日、昼12時から30分間「fmいずみ797」(79.7MHz)で放送中です。



Recipe



宮学生の特製オリジナル 私たちの健康レシピ!

今回のレシピは…



食品栄養学科4年 中津 彩香さん

鶏のささみと野菜が主なので、とてもヘルシーな一品です。そのままではなかなか食べる機会のない大豆も、野菜と一緒に混ぜればおいしく食べることができます。また、大葉としょうががアクセントになり、ピリッとした中にもさっぱり感が出ていますので、食欲がないときにもおすすめです。

韓国風サラダごはん



ここがポイント!

健康を意識し、胚芽米を使用しました。胚芽米は精白米と比べてビタミンB1を多く含み、また、玄米に比べて消化がよいというメリットがあるので、おすすめです。

材料 / (2人分)

- 鶏ささみ……………2本
- 塩・酒……………適量
- ベビーリーフミックス……………1袋
- きゅうり……………1/3本
- プチトマト……………4個
- ゆで大豆……………30g
- 胚芽ごはん……………320g
- 大葉……………5枚
- 白炒りごま……………小さじ1
- おろししょうが……………10g
- しょうゆ・酢……………各大さじ2
- 砂糖・ごま油……………各小さじ1弱
- 唐辛子……………お好みで

作り方

- ①鶏ささみは塩と酒をかけ、ラップをして電子レンジで約3分加熱し、食べやすい大きさに刻く。きゅうりは縦半分に切り、斜め薄切りにする。トマトは縦4等分にする。ベビーリーフミックスは食べやすい大きさにしておく。
- ②大葉は小さめにちぎり、ごまと一緒に胚芽ごはんに入れておく。
- ③ボウルにAを混ぜ合わせ、①の具と大豆を入れて軽く混ぜ合わせる。
- ④器に②を盛って③の具をのせ、残ったタレをかけたらできあがり☆

メイキング オブ 〈パーティール〉 — Making of partir —



今号の巻頭特集は、「落書き研究プロジェクト」です。取材後、落書きを消した現場へと足を運んでみました。落書きは消されたままの状態です。「きれいな場所には落書きしづらい」という分析結果どおりでした。しかし、依然として仙台の街には落書きがあります。落書きをする心理から落書き抑制につながる糸口を発見し、仙台がよりきれいな街になることを一市民として期待しています。

Club

サークル紹介



美術部

私たち美術部は、主に大学祭と在仙展(他大学合同展)に向けて作品制作をしています。平日の昼休みや放課後を中心に活動し、人によっては空きコマを利用したり自宅で作品を作ったりしています。作品の例としては、油絵や水彩画などの絵画、針金や石膏を使った立体作品などがあります。希望すればさまざまなことに挑戦できるので、部員それぞれに表現の幅を広げながら作品制作を進めています。

バドミントン部

私たちは毎週月曜日と金曜日の放課後に集まって活動しています。バイトや勉強との両立も可能で、趣味感覚で大好きなバドミントンを楽しんでいます。楽しみながらもまじめで、その成果として春と秋に行われるリーグ戦では好成績を収めています。また、監督は親身になって私たちの指導にあたってくださいませ。シャトルが打てなくなるほど笑い転げることもしばしばあります。楽しい部活です。



学生会 ニュースMGが行く!

新入生歓迎会の巻

2009年5月14日、宮城学院女子大学で恒例の、新入生歓迎会が開かれました。スポーツ大会、トチの実を使った餅つき大会、食品栄養学科によるクレープづくり、先生方のお手製料理など、学校を挙げて新しい宮学生を迎えました。

スポーツ大会には学年・学科を超えた多くのチームが参加し、それぞれが力を合わせて競技に挑みました。トチ餅に使用したトチの実は、学生会執行部や先生方が1年間、構内に落ちていた実を拾い集めたものです。学長先生をはじめ、先生と学生が輪を作り餅つきを楽しみました。

来年は、彼女たちが歓迎会を盛り上げる先輩として活躍してくれることを期待しています。

学生会ニュースMG編集部 片平 麻莉子、森下 美里

